

荒田校区 第1期(令和2年度~令和6年度) コミュニティプラン 校区振興計画

あたたかく 心のふれあう三方限のまち あらた



荒田校区コミュニティ協議会

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目30-27(荒田校区公民館内)
TEL/FAX : 099-297-5808 E-mail : arata-comyu@po5.synapse.ne.jp

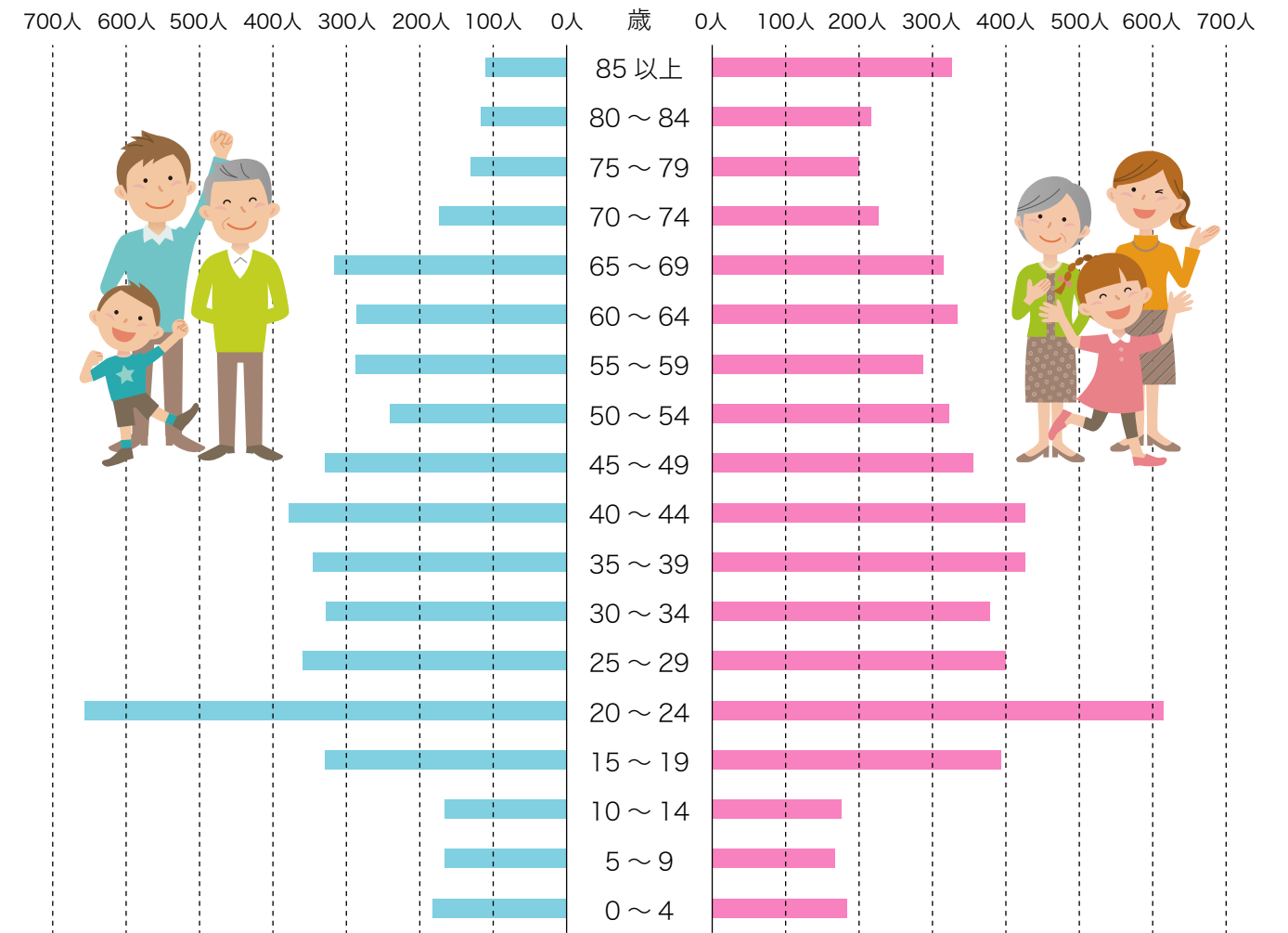
荒田校区コミュニティ協議会

目次

- 第1期コミュニティプランの策定にあたって..... 1
- 荒田校区の統計資料..... 2
- 荒田校区の紹介..... 3
- 主な1年間の行事..... 4
- 荒田校区はこんなところ..... 5
- 目標と運営方針..... 7
- 組織図..... 7
- プラン策定委員会委員..... 8
- これまでの会議の経過..... 8
- まちづくり部会..... 9
- 健康福祉部会..... 13
- 青少年育成部会..... 17
- 小・中学生アンケート..... 21
- 小学生安全マップ..... 22

荒田校区の統計資料

荒田小学校区の年齢別・男女別人口(平成27年国勢調査結果)



総人口:11,480人(男:5,344人/女:6,136人)

第1期コミュニティプランの策定にあたって

荒田校区コミュニティ協議会会長 齊之平 隆



新しい令和の時代を迎え、みなさまにはお健やかに過ごしのことと思います。いつも協議会の運営と事業にご理解とご協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

さて、荒田校区コミュニティ協議会が発足して2年が経過しました。この間、新しいまちづくり指針となる『第1期コミュニティプラン(校区振興計画)』を策定、いよいよ令和2年度から5年間の事業をスタートさせることとしました。この計画は校区の方々の手

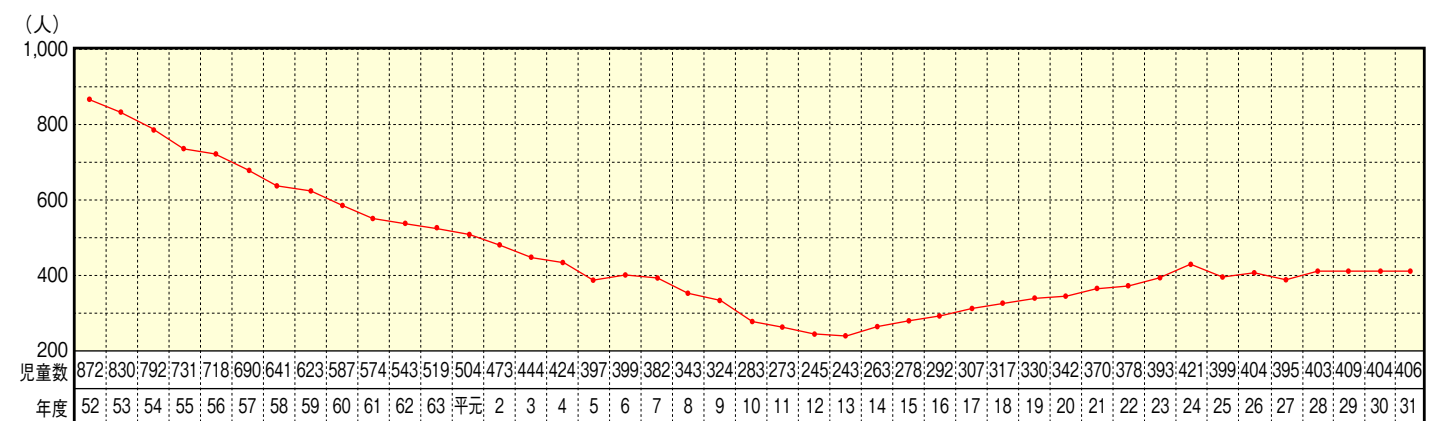
によって実践に移され、その結果を毎年度評価し、よりよく工夫・改善していくようになっていきます。

『住みよい快適なまち・あらたづくり』を進める第一歩としてこの冊子を活かしたいと考えています。将来にわたり荒田校区を愛し続けるために必要な『第1期コミュニティプラン』に沿ったまちづくりに邁進いたしましょう。

みなさま方のお力添えとご協力をお願い申し上げます。

このプランは、5年ごとに見直していきます。今後ともみなさまのアイデアをお寄せください。

児童数の推移(荒田小学校)



荒田校区の紹介

荒田校区の位置と成り立ち

荒田校区は甲突川右岸にあり、東西は高麗橋から武之橋間、南は鹿大法文学部と教育学部を分かち通りまでに位置し、高麗町、荒田一丁目、荒田二丁目の三町があります。

この地は、昔から「荒田ン田んぼ」と言われており、田上川がつくった扇状地で、建久8年(1197年)の「建久図田帳」によれば「大隅正八幡宮御領 鹿児島郡荒田荘」と記され平安時代末期に「大隅正八幡宮」(現鹿児島神宮)の荘園となったことに由来すると言われています。江戸時代は現在の中洲校区や武校区の一部も含んで大字荒田と呼ばれていました。荒田校区はその一部です。

三つの町内会(世帯数、人口は平成31年4月1日の鹿児島市町丁目住民基本台帳による)

高麗町(1,878世帯3,277人)の名は、秀吉の朝鮮出兵の際連れてきた陶工を住ませたところから付いたもので、陶工たちは後に現在の日置市美山(苗代川)に移り住み薩摩焼の伝統の守り手として活躍しました。

荒田一丁目(2,485世帯4,046人)、荒田二丁目(2,044世帯3,245人)は元々「上荒田東町内会」として一つでしたが、昭和46年(1971年)の町名街区変更に伴い、町内会も二つになりました。このときは旧上荒田東地区に下荒田、鴨池、高麗の一部も編入されました。

校歌に歌われた「三方限」

甲南中学校の正門脇にある「三方限出身名士顕彰碑」は昭和10年に建てられたもので、幕末・明治期に活躍したこの地域(荒田・中洲)出身者を顕彰し毎年8月10日に慰霊祭が行われています。荒田小と甲南中では先人に続けとそれぞれの校歌に詠っています。(以下)

鹿児島市立荒田小学校校歌

作詞・作曲 三界実義

歴史の夢は今もなお 三方限(さんぼうぎり)の碑に刻む
祖先の遺業受け継いで わたしもあなたも励みましよう
その名も荒田 わが母校

鹿児島市立甲南中学校校歌

作詞・養手重則 作曲・有馬大五郎

英俊雲と生(あ)れつぎて 維新の業をなしとげし
三方限(さんぼうぎり)の名も永遠(とわ)に
共同自治の風かおる 中学甲南若人われら

校区の特徴

- 鹿児島女子短期大学や各種専門学校があり、近くには鹿児島大学や甲南高校がある文教の街
- 生涯学習の拠点「サンエールかごしま」や放送局、税務署、二つの郵便局がある公共の街
- JR駅、空港バス、交通局が近くにあり市電が走る交通至便の街
- 交通局跡地の再開発を含め、騎射場地区など買い物、飲食に便利な街
- 知事公舎があり大型マンションも多い市内有数の住環境の街

主な1年間の行事(2019年度)

月	実施事業名・行事名	主な内容	担当部会等
4	あいさつ運動 交通安全運動		まちづくり部会
	あいご会総会	年間活動計画	青少年育成部会
	第1回 役員会・プラン策定委員会		事務局
5	荒田校区コミュニティ協議会総会		事務局
	社会学級開講式	成人学級(年10回)	青少年育成部会
6	資源回収①		青少年育成部会
	防災点検 安心安全ネットワーク会議①	校区内危険箇所点検	まちづくり部会
	第2回 役員会・プラン策定委員会		事務局
7	世代間ふれあい交流会	世代間のふれあい交流	健康福祉部会
	荒田校区災害防災訓練	災害防災訓練等	まちづくり部会
	第3回 役員会・プラン策定委員会		事務局
8	クリーンシティ鹿児島	校区内の環境浄化・点検	まちづくり部会
	三方限出身名士慰霊祭	慰霊祭参加	まちづくり部会
	第4回 役員会・プラン策定委員会		事務局
	校区公民館清掃		事務局
9	資源回収②		青少年育成部会
	あいさつ運動 交通安全運動		まちづくり部会
10	校区文化祭・あらたんの市の	発表会・展示会等	青少年育成部会
	第5回 役員会・プラン策定委員会		事務局
11	校区球技大会	ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ	健康福祉部会
	甲南地区暴力追放総決起大会	暴力追放大会参加・協力	まちづくり部会
	荒田校区コミュニティ協議会懇親会		事務局
12	しめ縄作り・もちつき大会	世代間ふれあい交流活動	青少年育成部会
	安心安全ネットワーク会議②	地域の安全対策等について	まちづくり部会
	第6回 役員会・プラン策定委員会		事務局
1	あいさつ運動 交通安全運動		まちづくり部会
	はまなげ	伝統行事(小学校土曜授業)	青少年育成部会
	第7回 役員会・プラン策定委員会		事務局
2	資源回収③		青少年育成部会
	青少年健全育成大会	青少年育成についての講話等	青少年育成部会
	社会学級開講式	成人学級	青少年育成部会
3	第8回 役員会・プラン策定委員会		事務局



荒田校区コミュニティ協議会総会



資源回収



三方限出身名士慰霊祭



校区文化祭



清掃美化活動



はまなげ

荒田校区はこんなところ

公共施設



1 荒田小学校
1922年(大正11年)荒田尋常高等小学校として開校。校内には長沢鼎より荒田小学校に記念として贈られたたぶどうの木が植樹されている。



2 甲南中学校
1947年(昭和22年)第六中学校として開校。本校の正門左には、幕末から明治にかけて偉人を多く輩出した人々の偉業を讃えるために「三方限出身土顕彰碑」が建てられている。



3 鹿児島女子短期大学
鹿児島実践女子高等学校として1908年開校。のち志学館学園の短期大学として現在に至る。



4 鹿児島税務署
鹿児島地方気象台の東郡元合同庁舎への移転にともない跡地に建設された。旧気象台の建築デザインを引き継いでいる。



5 サンエールかごしま
樟南高校は、博約学舎-鹿児島鉄道高校-鹿児島商工高校と歴史を持つが、同校の常盤町移転に伴い、跡地に鹿児島市の生涯学習施設として建設された。



6 MBC南日本放送
1953年(昭和28年)に鹿児島県初の民間放送局として開局。甲突川右岸に位置しており、1993年(平成5年)の8.6水害の際には水没の危機にみまわれた。

金融機関



7 荒田一郵便局



8 荒田二郵便局



9 鹿児島銀行みずほ通支店



10 南日本銀行荒田支店



11 鹿児島興業信用組合荒田支店



公園



12 荒田公園



13 气象台公園



14 騎射場公園



15 甲南公園



16 ルンビニ公園



17 武之橋公園

史跡・宗教施設



18 市交通局変電所跡

1912年(大正元年)に開設。市交通局は上荒田町に移転したが、変電所は記念碑として残る。



19 興正寺

浄土真宗興正寺派の寺で本山は京都の西本願寺南隣にある。夏の盆踊りにはあいご会も参加。



20 西本願寺荒田出張所

浄土真宗本願寺派鹿児島別院の出張所。盆踊りや除夜の鐘つきなどあいご会も参加。



21 鹿児島キリストの教会(プロテスタント)

1969年(昭和44年)よりアメリカ人宣教師によって始まった教会である。毎日に集いがある。



22 ルーテル教会(ルター派プロテスタント)

1951年(昭和26年)に建てられ、日本福音ルーテル教会の中では日本の一番南にある教会である。



23 カトリック鴨池教会(カトリック)

1952年(昭和27年)に創立。最初の礼拝堂は信者の方の手作りで建てられた。



24 荒田八幡南随神

荒田八幡は東西南北の端にそれぞれ随神社を起し、南随神が県知事公舎の南壁際にある。



25 船魂神社分社

新屋敷町に有る船魂神社は、この地に薩摩藩水軍の基地があり守護神としておかれたという。

三方限碑関係



26 井上良馨

日本の幕末から明治時代の武士(薩摩藩士)、海軍軍人。階級は元帥海軍大将。



27 大久保利通

明治維新の元勳であり、西郷隆盛、木戸孝允と並んで「維新の三傑」と称される。



28 関勇助

幕末の薩摩藩の武士。薩摩藩主・島津斉彬の側近として有名。



29 有村四兄弟

生家跡には雄助、次左衛門の名が有るが、長兄俊斎=海江田信義、四男の国彦も。



30 河野主一郎

西南戦争城山での最後の戦闘前に使者として官軍に赴き、とらえられたが後の明治政府で貢献。



31 益満行靖

益満休之助の弟。鳥羽伏見の戦い、戊辰戦争で戦功をあげる。ドイツ留学中に病死。



32 川村純義

海軍を創設。のちに昭和天皇の教育係を務める。



33 有馬一郎

「高崎崩れ」に連座し謹慎。その後、青年期の西郷隆盛や大久保利通らの指導者になる。

目標と運営方針

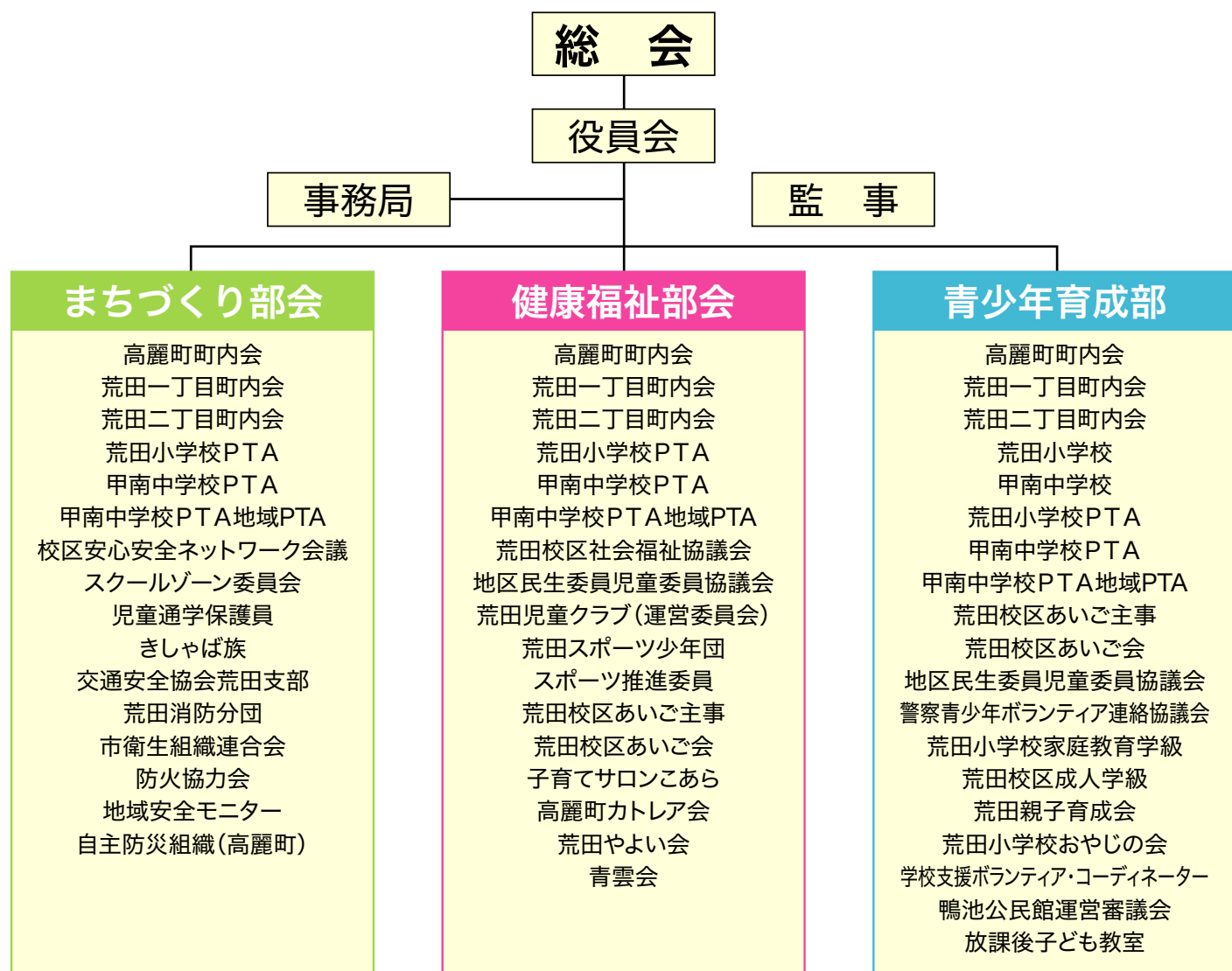
荒田校区コミュニティ協議会では、

スローガン ▶ あたたく 心ふれあう三方限のまち あらた

をスローガンに、連帯感と活力に満ちあふれたまちづくりを進めるために、次のような運営方針で取り組みます。

- ① 校区民の親和と協力のもと、校区の課題の解決や地域の福祉の向上を図り、地域主体の住み良いまちづくりを推進する。
- ② 子どもたちをはじめ、地域住民が夢と希望を持ち、ともに助け合いながら楽しく生活できる心豊かなまちづくりを推進する。
- ③ 各構成団体との連携を密にしながら、住民がふれあい交流し、住民同士の絆がさらに深まるような事業推進に努める。
- ④ 校区のまちづくりの指針となる地域コミュニティプランを住民の声を反映して作成し、関係行政機関等との連携を図りながら、地域課題の解決や地域資源の活用に取り組む。
- ⑤ 地域課題解決に向けて、鹿児島市をはじめ関係行政機関等との連携を図ってまちづくりを進める。

組織図



今後とも、荒田校区コミュニティ協議会では、住みよい快適なまちづくりにご協力いただける構成団体を募集しています。

プラン策定委員会委員

役職	氏名	協議会役職・所属	役職	氏名	協議会役職・所属
委員長	齊之平 隆	コミュニティ協議会 会長	委員	川路 大輔	青少年育成副部会長
副委員長	尾上 道雄	// 副会長	委員	根木原俊明	荒田小学校 校長
委員	酒匂 秀敏	// 副会長	委員	山岸 史人	荒田児童クラブ
委員	黒木 克宣	まちづくり部会長	委員	和田 麻美	荒田小PTA
委員	原口 透	// 副部会長	委員	今村 一美	学識経験者
委員	海江田悦郎	健康福祉部会長	委員	新穂 フサ	書記
委員	鈴山 秀則	// 副部会長	委員	田中 聖子	会計
委員	増田 勝彦	青少年育成部会長	委員	大脇麻記子	事務局職員

これまでの会議の経過

期日	会議名	内容等
平成30年3月11日	荒田校区コミュニティ協議会設立総会	規約制定、役員選出、事業計画、予算等について
6月21日	第1回プラン策定委員会	プラン策定の概要・委員等の検討
7月25日	第2回プラン策定委員会	アンケートの方法(配布先及び配付の仕方、回収の方法、集計の方法)について検討
8月23日	第3回プラン策定委員会	アンケート内容、配付・回収の方法について決定
9月	アンケート用紙配布	各町内会で抽出して調査依頼
10月25日	第5回役員会	アンケートの集計の仕方について検討
12月 6日	第4回プラン策定委員会	アンケートの集計計画
12月	事務局	アンケート集計作業
平成31年1月30日	第5回プラン策定委員会	アンケートまとめ(分析・考察、現状と課題)
3月20日	第8回役員会	アンケートまとめ確認
令和元年5月18日	定期総会	プラン策定の経過、事業計画、予算等について
6月29日	第1回プラン策定委員会	プラン冊子についての検討(作成の流れについて)
7月24日	第2回プラン策定委員会	プラン内容についての検討(全体構成)
8月28日	第3回プラン策定委員会	プラン内容についての検討(全体構成)
10月30日	第4回プラン策定委員会	冊子原稿案の検討
12月18日	第5回プラン策定委員会	冊子原稿案の検討
令和2年1月29日	第6回プラン策定委員会	冊子原稿案の最終検討
3月18日	第7回プラン策定委員会	プラン策定のまとめ、プラン冊子の活用の方の検討



まちづくり部会

地域でともに支え合う意識啓発のため、あいさつ運動の推進、防火、防災、防犯対策の充実や交通安全活動の推進、快適な環境を維持するための美化活動の推進、郷土の伝統的行事に参加し、歴史や文化を継承する、地域の行事・活動状況などの情報発信に努める。



心のつながりのある 活気あふれる 安全で住みよいまちづくり

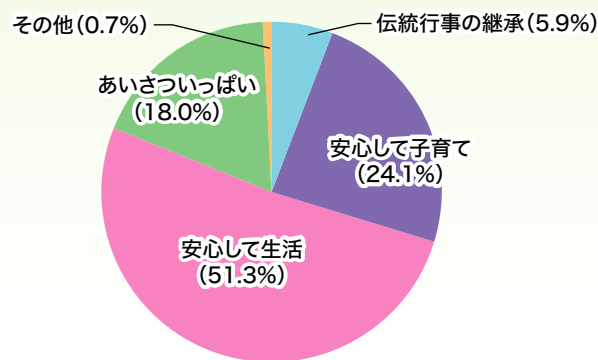
まちづくり部会 活動内容

- ▶ **校区内見回り活動** 事業名:地域の安全点検(防災点検) 実施時期:6月
内容:校区内の危険箇所の点検を行い、早期の対応をしていくことで安心安全なまちづくりを推進する。
効果:点検結果をもとに対策を講じることで、明るく住みよいまちづくりにつながる。
- ▶ **ふれあい活動** 事業名:あいさつ運動 実施時期:学期初め
内容:「あいさつ先手運動」を展開し、あいさつがあふれる地域づくりを進める。
効果:住民同士のあいさつで、地域でともに支え合うという「結い」の意識を一層高めることができる。
- ▶ **校区環境点検活動** 事業名:防災訓練 実施時期:7月
内容:校区内の空き家や空き地、人目につかない暗がりや公園、有害図書等の点検活動を行い、早目の対応をしていく。
効果:環境点検により、青少年の健全育成はもとより、校区住民の防犯に役立つ。
- ▶ **地域環境の美化・保全活動** 事業名:清掃美化活動(クリーンシティ作戦) 実施時期:8月
内容:「クリーンシティかごしま」の日に合わせて、校区内の環境美化活動を行う。
効果:美化活動を通して美しい環境づくりを推進するとともに、町内会活動の活性化が図られる。

- ▶ **情報発信** 事業名:コミュニティだよりの発行 実施時期:年2回
内容:コミュニティ協議会の活動結果や計画及び運営等について住民へ知らせる。
効果:校区民みんなが協議会の運営や活動等についての理解を深め、積極的な参加の増につなげる。
- ▶ **防火・防災・防犯・交通安全活動の推進**
事業名:防災・防犯・交通安全活動 実施時期:随時
内容:火災、地震、津波を見据えた防災訓練を行うと共に、暴力の追放を目指して総決起大会・パレードを行う。また、ゾーン30指定区域の交通事故防止啓発のための案内や立哨指導を行う。
効果:災害のない、暴力や交通事故のない明るく住みやすいまちづくりに寄与する。
- ▶ **伝統行事の継承** 事業名:三方限出身名士慰霊祭 実施時期:8月
内容:顕彰碑の前に集って三方限出身名士の遺徳に触れる慰霊祭を行う。
効果:郷土の歴史を学びながら、郷土出身の名士の遺徳を偲ぶとともに、郷土への愛着を深める。

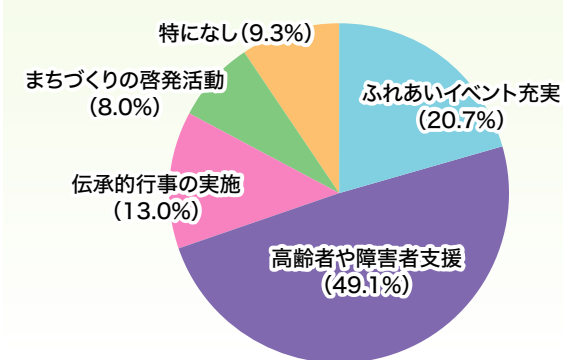
まちづくり部会 アンケート結果 (406の方にアンケートをいただきました)

Q1 将来どのような地域(まち)にしたいですか。



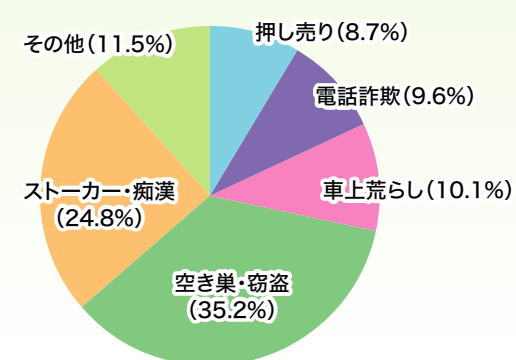
具体的記述は無かったが、「安心して生活」、「安心して子育て」など安心安全な生活を望んでいることが窺える。

Q2 より魅力的な地域(まち)にするために今後どのような活動が有効だと思いますか。



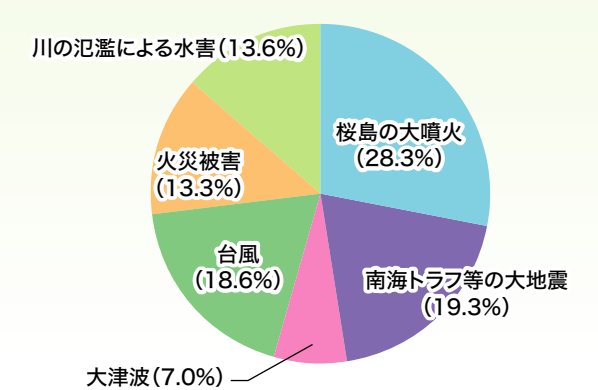
回答者年齢層が高かった(60歳以上は42%)ことから、高齢者や障害支援の要望が最も多く、次いでふれあいイベントの開催要望が多かった。

Q7 防犯で不安に思うことがありますか。



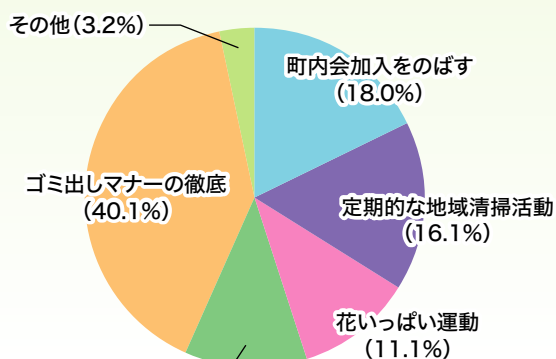
当該地域では自転車盗難が多いこと。最も注視すべきは不審者・変質者が多いこと。特に女性の夜間外出は慎むべきと促している。

Q8 どのような災害が心配ですか。



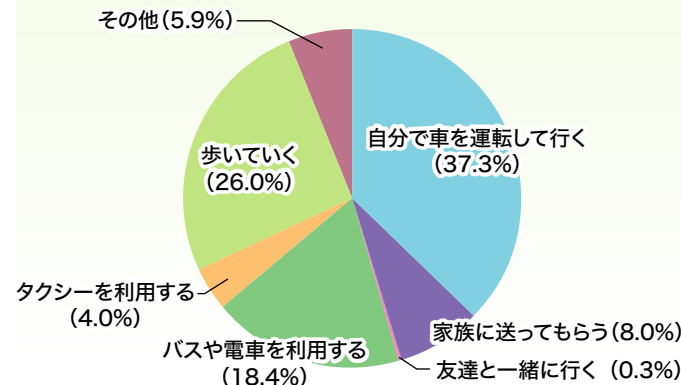
河川の氾濫被害より桜島噴火災害を気に掛けている方が多かった。津波など水害より地震対策を望む方が多かった。

Q3 環境をさらによくするためにどのような取組が必要ですか。



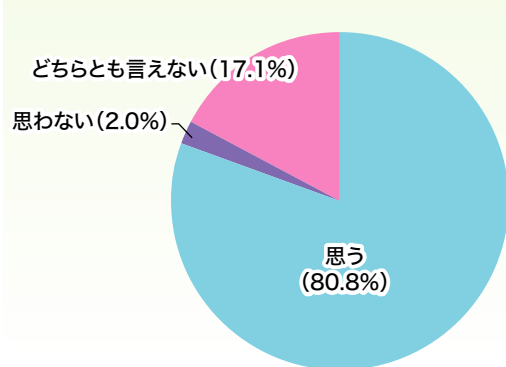
「ゴミ出しマナーの徹底」が最も多く、環境整備に関心を持ち、常日頃思うことに「ゴミステーション」の問題がある。

Q4 病院や買い物に行くとき、どのような交通手段を利用していますか。



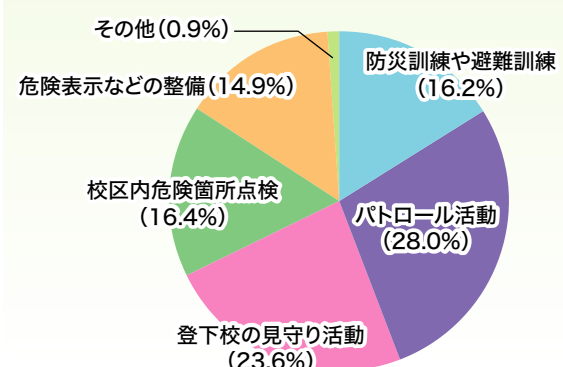
校区地域は、買い物、病院など2km圏内にあることから「歩いて行く」が多かったものと推測される。

Q5 治安のよい地域だと思いますか。



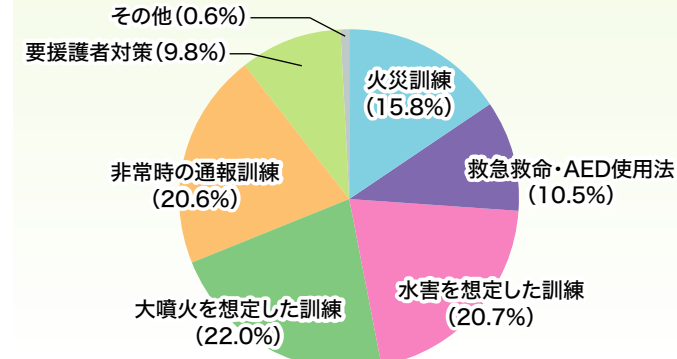
ほとんどの方(80%)が「住みやすいと思う」反面、ごく一部の方(2%)が「そう思わない」と回答している。

Q6 安全安心なまちづくりのためにどんな活動を実施したらよいと思いますか。



パトロール、登下校見守り、危険箇所の点検など多くの方が望んでいる。更に拡充した活動を期待しているものと解釈する。

Q9 どのような災害を想定した防災訓練が必要だと思いますか。



大噴火、水害を想定した訓練を望む人が多く、訓練の前に通報訓練も必要との声も多い。



現状と課題

現状

- 学校を中心としたあいさつ・声かけ運動がよくなされている。
- 防犯パトロールによる見守り活動が円滑に実施できている。
- 町内会への未加入世帯の増加や少子高齢化が進み、住民同士のふれあいが希薄になってきている。
- 大学生が多く居住している。
- 荒田は住みやすいという意見が多い。
- 中心市街地であり、交通量が多い。通勤や買物等による人の交流が多い。
- 毎年8月に、中洲校区と連携した「三方限出身名士慰霊祭」を開催している。

課題

- 町内会等と連携して、住民のふれあいを推進する取組を進める必要がある。
- 校区活動や地域行事等の運営に若い人の参加が少なく、役員が固定化してきている。若い世代のリーダー(後継者)の育成を図る必要がある。
- 自然災害等の発生に伴う防災・減災に向けた取組や、福祉関係の活動を充実させたい。
- 避難マップの作成や啓発活動等を推進し、防災運動の強化を図る。
- 「三方限出身名士慰霊祭」には各関係者の出席としているが、三方限出身名士顕彰碑や慰霊祭のことを知らない地域住民もいる。



健康福祉部会

校区住民の健康を増進するために、スポーツ推進委員と連携しながら、スポーツ行事の企画運営や健康教室を開催し、体力づくりの啓発を図る。また、高齢者福祉・児童福祉を充実させるために、見守り活動・子育て支援活動・福祉に関する学習・世代間交流等を行う。また、福祉に関する広報活動・支援活動を行う。

基本
方針

- ▶ 相互に支え合うやさしいまちづくり
 - ▶ 健康・体力づくりに励む
- 元気あふれるまちづくり

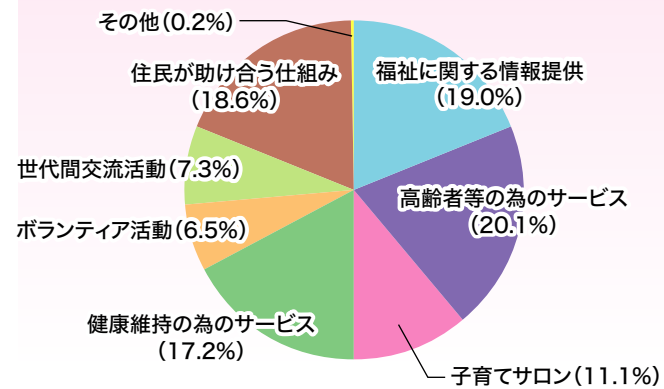
健康福祉部会 活動内容

- ▶ **高齢者福祉の推進活動** 事業名:見守り活動(ふれあい活動) 実施時期:随時
内容:校区内の高齢者等へのさりげない声かけで支え合う地域づくりを進める。
効果:隣近所へのあいさつ等の声かけでつながりを深め、お互いを支え合う意識を育てることができる。
- ▶ **児童福祉・子育て支援活動** 事業名:子育て相談活動 実施時期:毎月
内容:子育て中の母親が気軽に集い、子育てに対する不安や悩みなどを「子育てサロン」で話し合う場を設けている。
効果:子育て中の母親が、子育てに対する情報や知識を得ることで、悩みや不安を軽減するとともに、母親同士や支援者との交流が図られる。
- ▶ **福祉に関する学習** 事業名:介護講習会 実施時期:9月
内容:介護をしている人やこれから介護をしようという人に対する介護講習会を実施している。
効果:住民の介護に対する関心の高揚を図るとともに、介護の方法や心構え等について知識を深めることができる。
- ▶ **福祉に関する広報** 事業名:社協だよりの発行 実施時期:年2回
内容:健康福祉部会や校区社協など、部会構成団体の活動を住民に知らせる。
効果:福祉施設や福祉関係の活動団体等についての情報を得ることができ、福祉に対する関心を高める。

- ▶ **スポーツ行事の企画・開催** 事業名:校区球技大会 実施時期:11月
内容:各世代の地域住民が集い、ソフトバレーボールやグラウンド・ゴルフ大会を開催して楽しむ。
効果:球技を行うことで、体力づくりへの意識化を図るとともに、校区住民の心の交流を図ることができる。
- ▶ **世代間交流活動** 事業名:世代間ふれあい交流 実施時期:7月
内容:地域住民が七夕祭りを機会に集うことで、ふれ合い交流を行なっている。
効果:地域住民の親睦を深め、絆を強くするとともに、地域の活性化につながる。
- ▶ **スポーツ推進委員との連携** 事業名:健康・体力づくり講座 実施時期:7月
内容:ニュースポーツをはじめとする健康・体力づくり講座を実施する。
効果:校区住民の健康・体力づくりへの関心や実践意欲を高めるとともに、住民どうしの親睦を深める。
- ▶ **福祉に関する支援** 事業名:福祉に関する調査 実施時期:随時
内容:一人暮らし高齢者、障害者、長期滞在者、外国人居住者等の福祉に関する支援を行う。
効果:校区内の福祉環境の整備を積極的に行うことで、福祉意識の高揚が期待される。

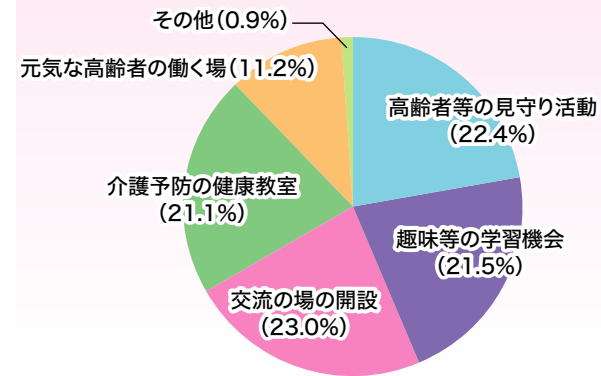
健康福祉部会 アンケート結果 (406の方にアンケートをいただきました)

Q1 荒田校区の福祉は、どのようなことを充実させたらよいと思いますか。



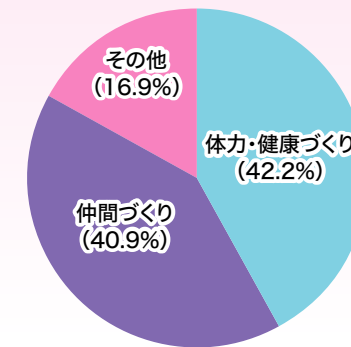
福祉に関する情報提供や高齢者等のためのサービス等の住民の要望があるので、行政との協議を行いながら今後の方策を講ずることとする。

Q2 (高齢者の方に)。あったらいいと思うサービスはどのようなものですか。



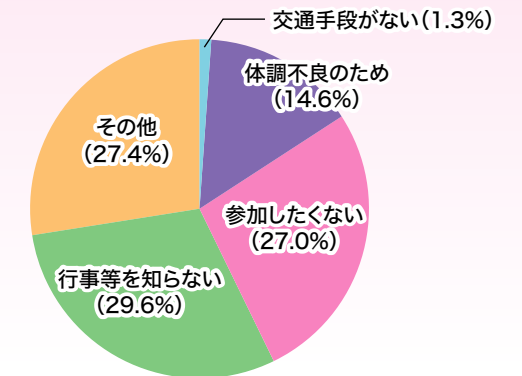
高齢者等の見守り活動や介護予防の健康教室、交流の場の開設等多岐に亘る要望に応えるために、校区社協等との連携が必要である。

Q7 (スポーツ行事等に参加している人) 参加する目的は何ですか。



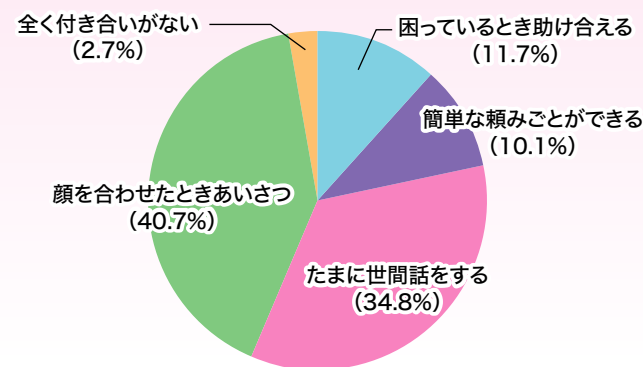
スポーツ行事等に参加する目的は、体力・健康づくり・仲間づくりが80%超であり、スポーツ行事等の開催趣旨は達成されている。

Q8 (スポーツ行事等に参加したことがない人) 理由は何ですか。



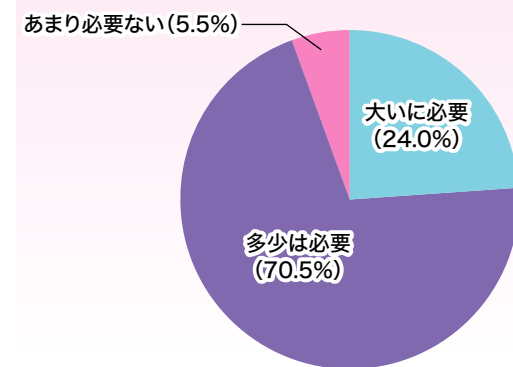
アンケート結果を踏まえ、今後も広報活動を徹底させて参加意欲を高揚させることとする。

Q3 近所の方とどの程度お付き合いをしていますか。



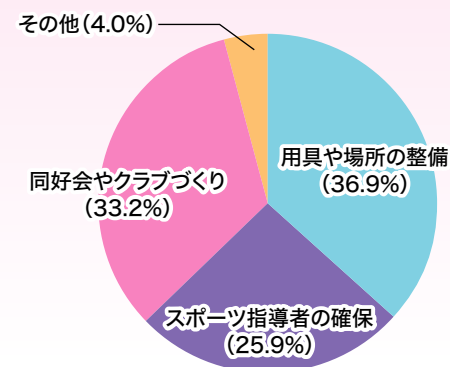
ご近所とのお付き合いが希薄となっている昨今であるが、あいさつや世間話は常時行われている。

Q4 ご近所による助け合いや支え合いは必要だと思いますか。



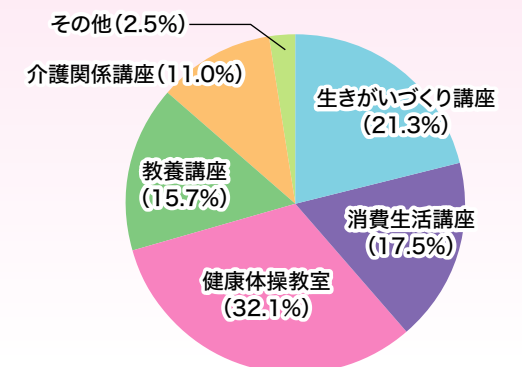
ご近所との助け合い・支え合いは多くの住民が必要と考えているようであり、今後の組織的な支援体制が必要である。

Q9 「体力・仲間・健康」の地域づくりに必要なことは何ですか。



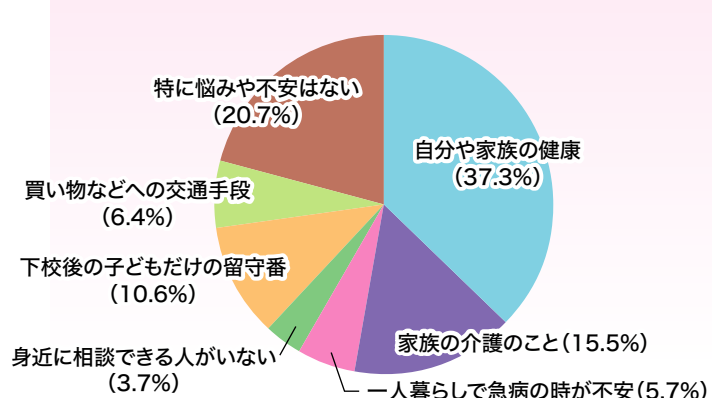
体力・仲間・健康づくりに欠かせないことは、同好会やクラブづくりとともに、用具や場所、スポーツ指導者の確保が期待される。

Q10 どのような講座や学習会・講演会を開催してほしいですか。



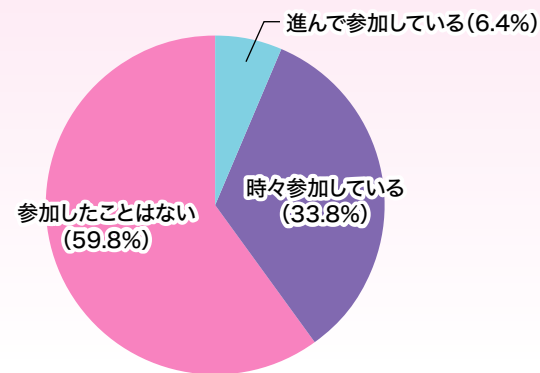
住民の多くが、生きがいづくり講座、健康体操教室、教養講座等の各種学習講座開催の要望をされており、今後関係機関と連絡協調図り実施に向けて努力したい。

Q5 日頃どのような悩みや不安を感じていますか。



住民の最大の関心事は、自分や家族の健康・介護のことであり、急病時に身近な相談相手がないこと。また、交通手段に不安を抱えている。

Q6 荒田校区で行われているスポーツ行事等に参加していますか。



今後の地域の活性化のために、参加促進のための広報活動を充実させて、周知を図ることが重要である。

アンケート結果の現状と課題

現状

- 校区で行う各種スポーツ大会や体力づくりへの参加者が全体的に少ない状況である。
- 球技大会(ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ)が継続して取り組まれてきていて、参加者も多く好評である。
- 一人暮らし高齢世帯、高齢者夫婦世帯など、高齢者のみの世帯が増加している。
- 校区のスポーツ行事等参加する目的は、主に体力健康づくり・仲間づくりである。
- 高齢者等の福祉サービスとして、見守り活動・交流の場が必要とされている。
- 日常の悩みや不安材料として、自分や家族の健康・介護や買い物等の交通手段の問題がある。
- 近所付き合いや支え合いの大切さは分かっているが、住民同士の交流はあまりなされていない。

課題

- 球技大会ばかりでなく、いろいろな種類の体力づくりの場などを設定して、体力づくりへの住民の意識向上を図る必要がある。
- 高齢者や子育て世代が集って語れるような機会と場を設定する。
- 町内会等と連携して、住民のふれあいを推進する取組を進める必要がある。
- 「体力・仲間・健康」づくりに必要なことは、組織づくり・指導者の確保等が必要となる。
- 助け合い、支え合うご近所付き合いをいかに促進するか検討の余地がある。
- 生きがいづくり講座、教養講座、介護関係講座、健康体操教室の開催が必要である。



青少年育成部会

あいご会や文化活動などを通して、地域で異年齢交流を図ることで、豊かな成長を育む。「家庭、地域、学校」が共通理解を図り、相互に連携するとともに、地域ぐるみで活動をしていく。また、心豊かで生きがいのある人生を送るために必要な教養や知識、技能を修得する成人学級も魅力。

基本
方針

- ▶ 学ぶ楽しさを実感できるまちづくり
- ▶ 心豊かでひとみ輝く荒田っ子が育つまちづくり

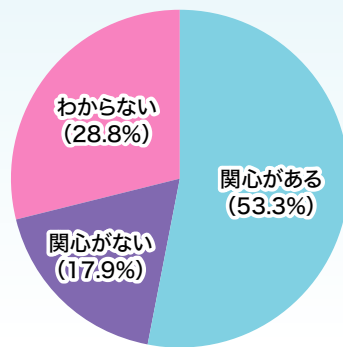
青少年育成部会 活動内容

- ▶ **生きがいづくりの学習** 事業名: 社会学級の開設 実施時期: 年10回
内容: 成人学級を開設し、住民が校区公民館等集い、教養の向上を図り、成果を家庭やまちづくりに役立てる。
効果: 日常的な課題について学びあうことで、まちづくりや家庭生活に役立つ力が向上し、活気ある地域づくりに貢献できる。
- ▶ **文化行事の企画・開催** 事業名: 校区文化祭 実施時期: 10月
内容: 社会学級や自主学習グループ、学校等の学習活動の成果を発表する。
効果: 学習成果を発表したり、参観したりすることで、校区の文化の向上と豊かな心が育つふるさとづくりに寄与できる。
- ▶ **地域一体の青少年育成活動** 事業名: 青少年健全育成大会 実施時期: 年1回
内容: 関係団体の代表者等が集まって、青少年の健全育成に向けた話し合いを行い、日頃の見守り活動に発展させる。
効果: 次代を担う青少年を校区民全体で見守っていかこうとする態勢づくりをすることができる。

- ▶ **関係団体との連携** 事業名: しめ縄作り、もちつき大会 実施時期: 12月
内容: 校区内の親子等を対象に、しめ縄作りやもちつきを行い、正月行事の伝統に触れるとともに、親子の絆を深める。
効果: 「民生委員・児童委員協議会」や「親子育成会」、「家庭教育学級」等の行事開催の支援を行うことで組織の充実を図り、地域の活性化につなげる。
- ▶ **あいご会等の活動支援**
事業名: 歩こう会 実施時期: 年3回
内容: 近隣の名所等を親子・地域住民で歩くことで、地域を一層知る機会とする。
効果: 地域を歩いて、自分たちのふるさとのことを詳しく知るとともに、歩くことで健康づくりにも役立てる。
事業名: あいご会の資源回収への協力 実施時期: 年3回
内容: あいご会が行う資源回収への協力と、地域への呼びかけを行う。
効果: 学校と地域との連携を強化するとともに、学校教育への支援の輪を広げる。
- ▶ **学校教育支援活動** 事業名: 六月燈見回り、街頭補導 実施時期: 7月
内容: 校区内の六月燈等での事故防止・防犯のために、小・中学校のPTA等と連携して、見守りや補導を行う。
効果: 小中学生の非行防止等に取り組むことで、青少年の健全育成に役立てるとともに、住民同士の絆を強めることに寄与する。

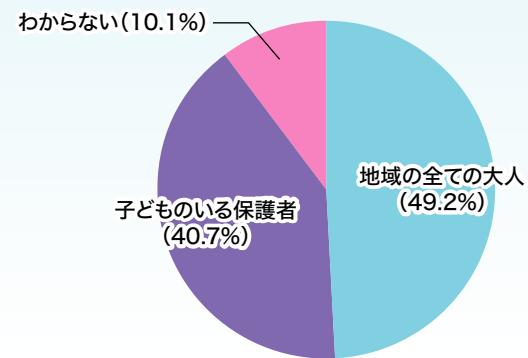
青少年育成部会 アンケート結果 (406人の方にアンケートをいただきました)

Q1 「あいご会」に関心がありますか。



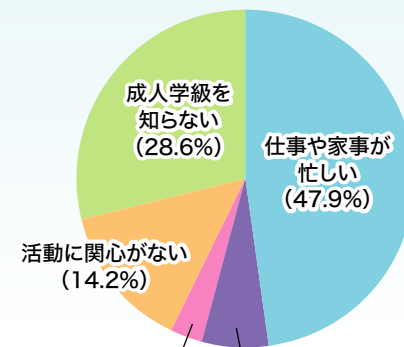
「あいご会に関心がある」が半数を占めているが、更なる広報活動等により、関心を高める必要がある。

Q2 「あいご会」の母体は何だと思いますか。



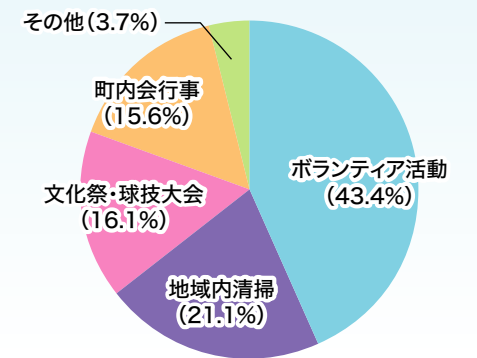
子どものあるなしに関わらず、全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織です。

Q7 (Q6で「参加していない」と答えた方に) その理由は何ですか。



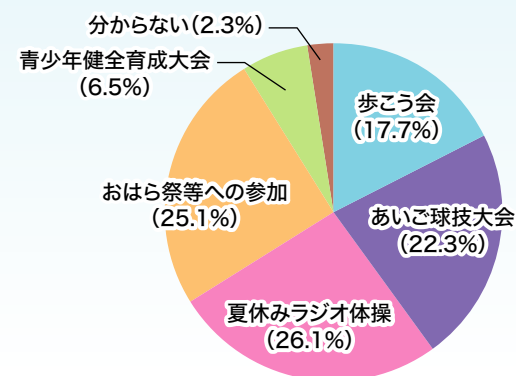
「成人学級を知らない」が3割近くある。まずは成人学級を周知していく必要がある。

Q8 荒田校区の高校生に 参加してほしい地域行事は何ですか。



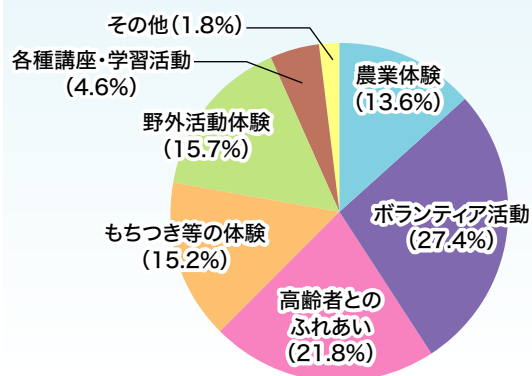
学年が上がるにつれ、地域活動と関わることが減ってしまう。先輩が後輩を指導して行事を盛り上げてほしい。

Q3 「荒田校区あいご会」が実施している活動をご存知ですか。



住んでいる地区の行事に子どもが多く関わることにより、知り合いも増え、安心感があるという意見もあった。

Q4 幼児や小・中学生等にどのような体験活動をさせたらよいと思いますか。



アンケート結果より、幅広い体験活動を求める声があることから、推進する必要がある。

アンケート結果の現状と課題

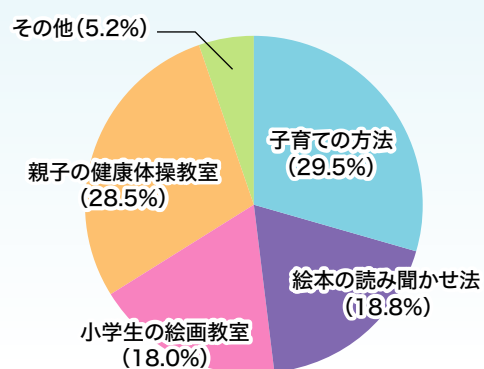
現状

- あいご会活動について、約半数の人たちが知らなかったり、関心がなかったりしている状況である。
- 協議会や町内会は、あいご会と連携しながら、世代間のふれあいを進める事業に取り組んでいる。
- 社会学級として、成人学級を開設して定期的に活動している。しかし、地域住民の多くが成人学級の活動を知らない。
- 文化祭を開催して、幼児・児童・生徒や学習者の発表の場としている。また、地域住民にとっては地域の様々な文化にふれる機会となっている。
- 学校支援ボランティア・コーディネーターとの連携を図るとともに、関係行事への参加が少しずつ増えてきている。

課題

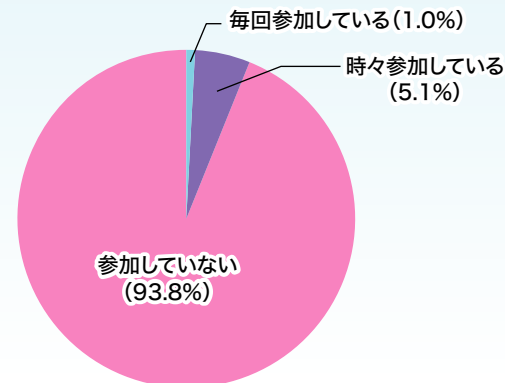
- あいご会活動を中心にして、子どもたちにいろいろな体験活動の機会を設定していく必要がある。
- 子どもたちと地域の大人との交流の機会をさらに増やしていくことを考えたい。
- 成人学級を開設しているが、参加者が少なく、固定化してきているので、内容や運営の工夫を図るとともに広報活動を積極的に行い、参加者を増やしていきたい。
- 社会学級の内容や運営の工夫を図り、参加者を増やす。
- 文化祭への参加者(出演者、展示発表者)や参観者がさらに増えていくように、学習意欲を高め、魅力ある文化祭となるような取組を進め、多くの参観者を得られるような工夫をしていく。

Q5 子育てのために、どのような講座や講演会等を開催してほしいですか。



その年の状況や様々な家庭環境に配慮した講座を考えていく必要がある。

Q6 成人学級に参加していますか。



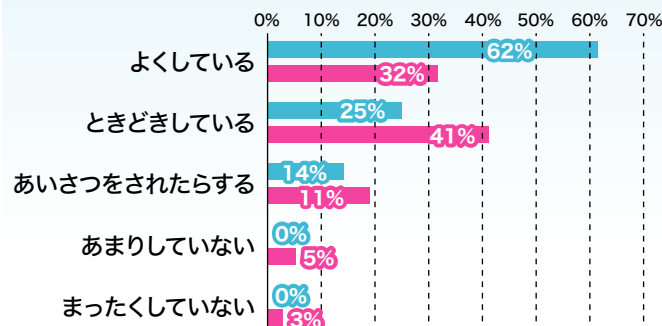
もっと魅力ある成人学級にしていく必要がある。



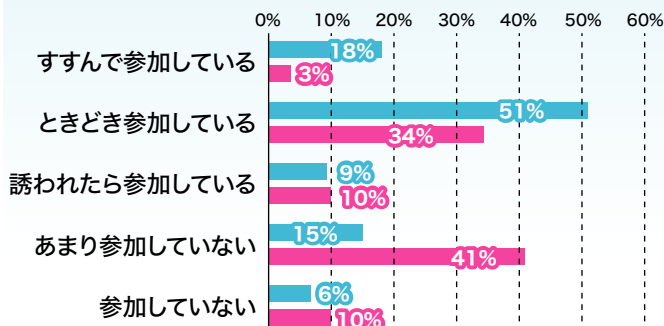
小・中学生アンケート

対象者
■ 荒田小5年65人 / ■ 甲南中2年59人

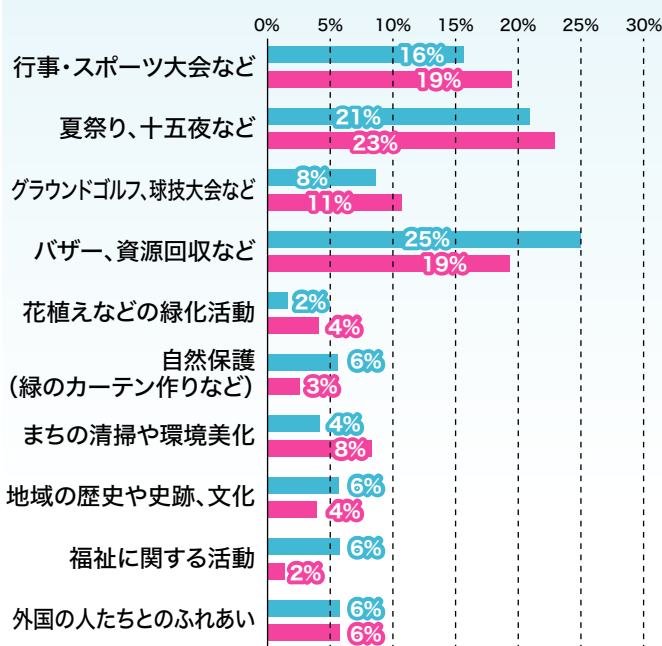
Q1 近所の人とあいさつをしていますか。



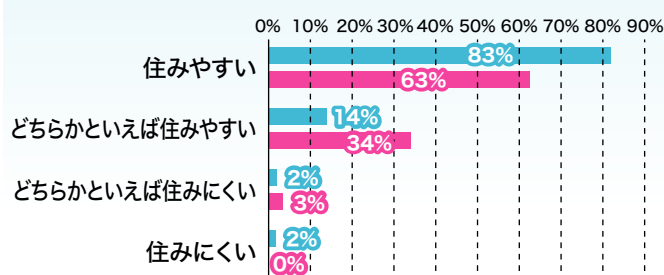
Q2 あいご会活動や校区内の行事などに参加していますか。



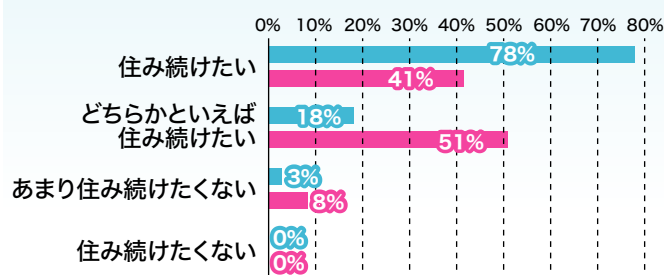
Q3 今後どのような活動に参加・協力してみたいですか。



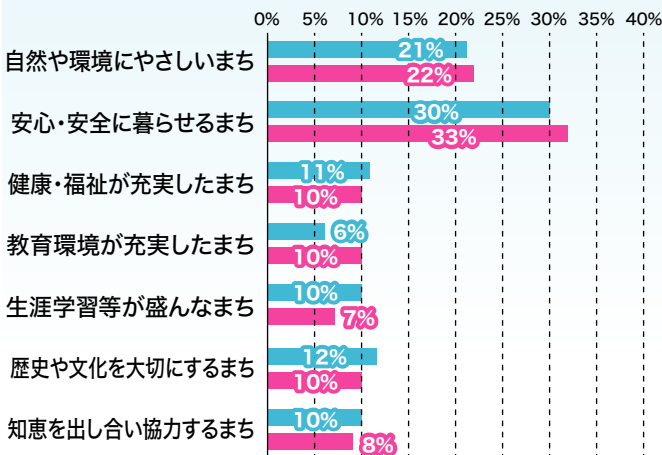
Q4 あなたの住む荒田校区は住みやすいと思いますか。



Q5 これからも荒田校区に住み続けたいと思いますか。

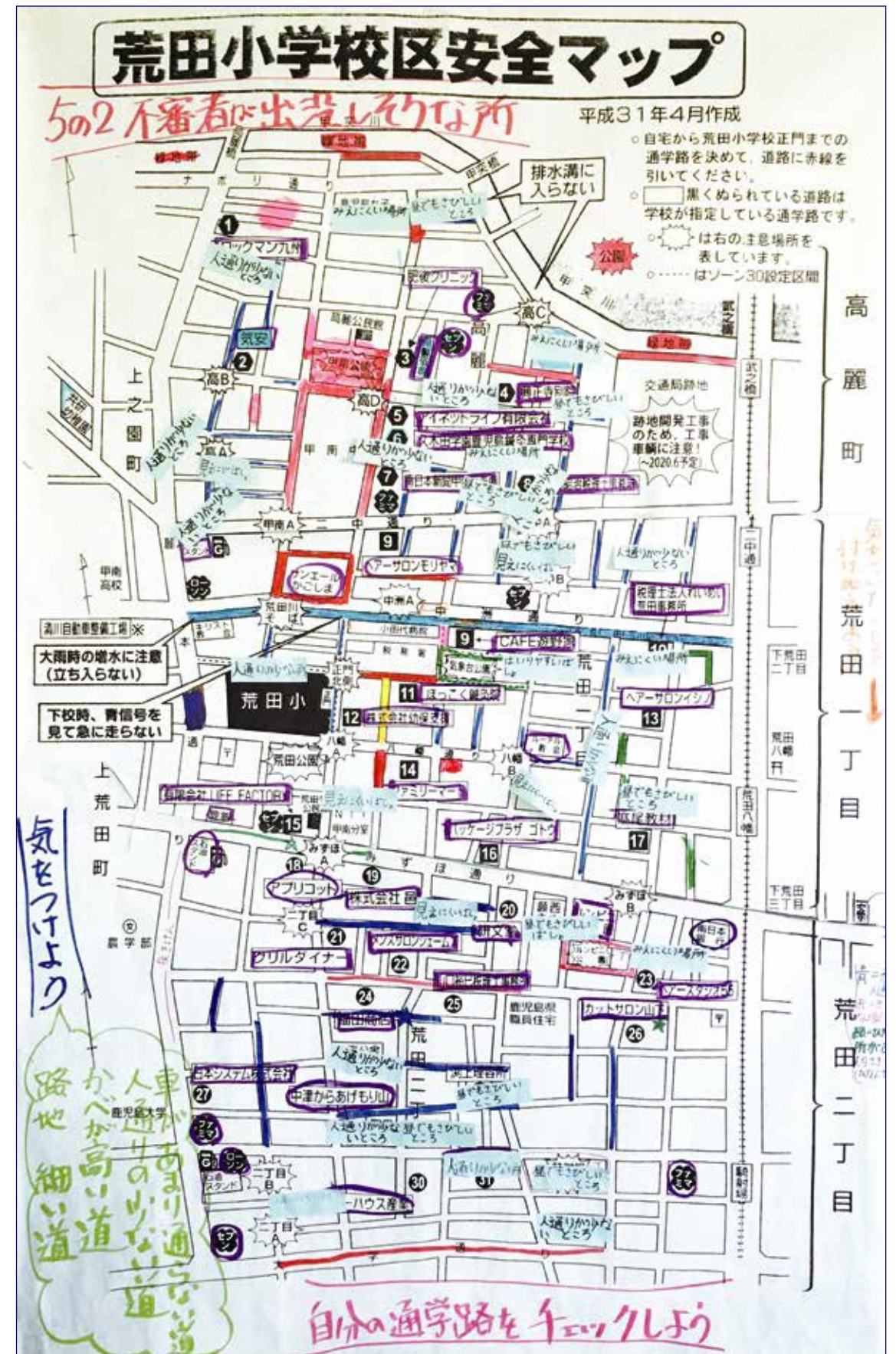


Q6 荒田校区がどのような「まち」になってほしいですか。



小学生安全マップ

— 細い、暗い道。人通りが少ない。 — 危険、不審者が出没しそうな場所。 — 避難できる場所。 — 子供110番で安全な場所。



荒田小学校PTAの生活部には、子供たちや保護者それぞれの、不安を感じる箇所の情報がたくさん集まりました。この情報を共有するために、親子・学校・地域で作る校区安全マップ作りを計画しました。危険の種類ごとに色わけし、気づいたことは付箋紙に記入し、安全マップへ直接貼ります。